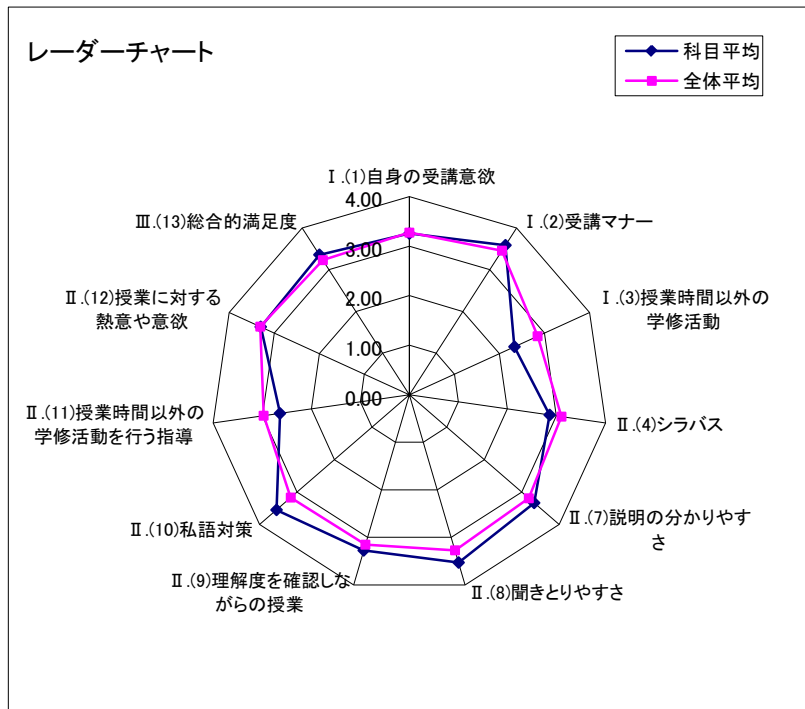


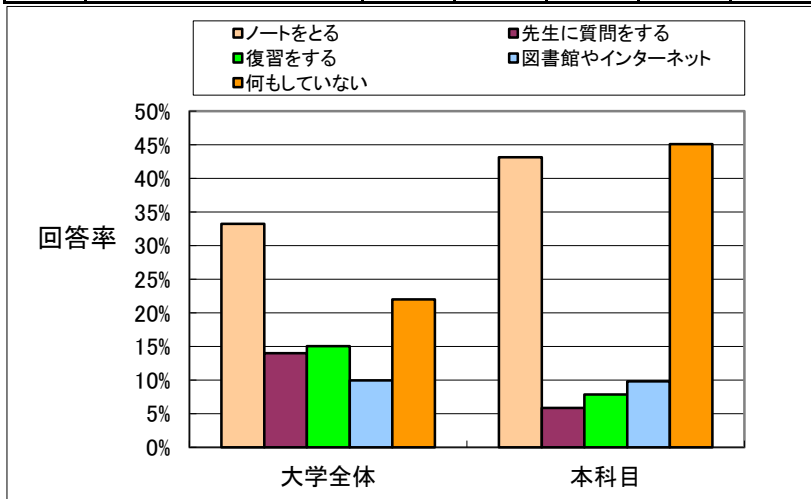
講義科目 授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.25	3.27
	I.(2)	3.59	3.46
	I.(3)	2.33	2.85
講義内容・方法	II.(4)	2.86	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.33	3.19
	II.(8)	3.53	3.27
	II.(9)	3.27	3.15
	II.(10)	3.55	3.17
	II.(11)	2.64	2.97
	II.(12)	3.30	3.31
	総合評価	III.(13)	3.36

※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	0.43	0.06	0.08	0.10	0.45



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.06	3.19
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.21	3.17
総合評価 III.(13)	3.36	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	3305
科目名	コーチング論
教員名	

①授業計画の達成度について

授業計画通りに授業を進めることができた。スポーツ・コーチングの理論・指導方法・を正しく理解できたかは7割程度達成できた。あと3割については、専門用語やグラフの読み方などが理解できていない。

②授業の進め方について

毎回、プリントを配布し書かせるという作業をさせた。授業終了ごとに回収し、書き写しているかをチェックし平常点とした。次の授業時に返却し、このプリントは定期試験時に持ち込み可とした。それでも約3割が不可となった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

私語対策として座席指定とする。その効果はアンケート通り私語の少ない授業が達成できた。また、プリントに記入させる作業もさせたので、さらに、私語対策の効果が上がった。プリントに記入させるのは、私語対策とともに携帯メールをさせないためもあった。そのために板書も、黒板のあちらこちらに不規則に書き、集中していないとどこに書いたかわからないようにした。アンケートにある「黒板の書き方がわからなくなる」というのは、そのためであろう。大学の授業かという思いと板挟みではあるが。